

令和8年2月20日

令和7年度病害虫発生予察注意報（第1号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名:アカマルカイガラムシ
2. 対象作物:カンキツ
3. 対象地域:県北部(海南市下津町)、県中部
4. 発生量:多
5. 発生時期:5~10月
6. 注意報発表の根拠

県内カンキツ園における令和7年10月の発生ほ場率は34%（平年5%）、被害果率は9.8%（平年0.9%）であった(表)。

表 カンキツ果実のアカマルカイガラムシの発生状況

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	平年
発生ほ場率(%)	2	6	2	2	5	6	0	0	17	11	34	5
被害果率(%)	0.1	1.7	0.1	0.3	0.7	0.9	0	0	3.9	1.8	9.8	0.9

※調査ほ場数：H27~R2は65、R3~R7は64 調査時期：10月 平年：H27~R6の平均

7. 防除上の注意事項

- 1) 越冬した成虫・幼虫が5月以降の発生源になるため、発生園ではマシン油乳剤（97%）をハダニ類等の防除を兼ねて3月末までに散布する。
- 2) 薬液がかかりにくい樹冠の頂部、裾部および内部の枝葉の混み合った部分に発生が多いので、樹全体に十分にかかるよう散布する。
- 3) 5月以降に第一世代幼虫の発生が確認されるため、定期的に園地を見回り、発生が確認される場合は薬剤による防除を行う。8月以降急増するため、必要に応じて追加散布を行う。
- 4) 剪定の際、寄生枝は切除するとともに、混み合った部分を減らし、薬液が届きやすい樹形を作る。
- 5) 本種は中晩柑類で発生が多い傾向があるため、特に注意する。
- 6) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。



写真 枝（左）、葉（中）、果実（右）のアカマルカイガラムシ被害

担当：農作物病害虫防除所 有田川駐在
電話：0737(52)4320